

志摩市環境基本計画策定市民会議
報 告 書

平成 26 年 12 月

目 次

1	市民会議の目的	1
2	市民会議の役割	1
3	市民会議の開催	2
4	市民会議による課題解決のためのアイデア	3
	【生活環境】	3
	【都市環境】	5
	【自然環境】	7
	【地球環境】	9

資料編

志摩市環境基本計画策定市民会議設置要綱	資-1
第1回市民会議の結果	資-2
第1回市民会議 発表シート	資-10
第2回市民会議の結果	資-11
第2回市民会議 発表シート	資-17
市民会議委員名簿	資-18

1 市民会議の目的

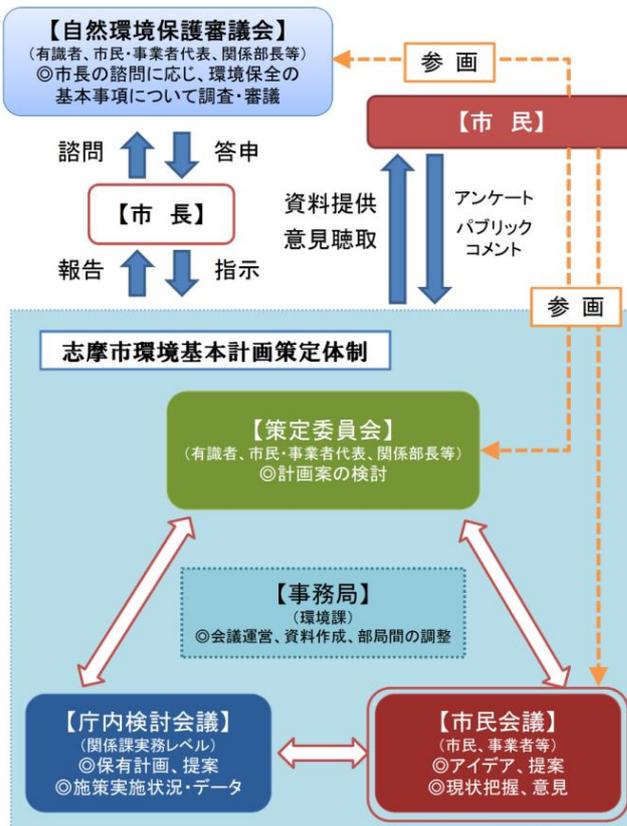
志摩市環境基本計画策定市民会議は、志摩市環境基本計画の策定の過程で市民の意見を反映するために設置された会議である。

- 市民が、志摩市の環境の現状や、問題点・課題について考える
- 会議を通じて、志摩市の環境についての理解を深める
- 志摩市の特徴を活かした、環境保全・創造の取り組みのアイデアについて意見交換する

「環境基本計画」

環境基本計画は、環境の保全と創造に関する長期的な目標及び総合的な施策の基本方針を明らかにし、志摩市総合計画や諸計画の関連施策と整合をとりながら、総合的・計画的な施策の推進を図るとともに、市民・事業者・市それぞれの責務に関連する行動例などを明らかにする。

2 市民会議の役割



市民会議は、市民の生の声やアイデア等を提案する役割を担う。

市民会議では、アンケート調査だけでは把握しきれない市民の生の声として、住んでいる地域や志摩市全体の環境の現状と特徴について考え、問題点・課題を明らかにして、解決のためのアイデアを検討した。解決のためのアイデアの検討にあたっては、「市民だけでできること」、「行政と一緒にできること」に着目した。

3 市民会議の開催

市民会議開催状況

回	開催日時	開催場所	テーマ
第1回	平成26年 11月14日(金) 13:30～15:30	志摩市役所 4階会議室	志摩市の環境の現状と特徴について考えよう 日頃感じている志摩市の環境の現状を、分野ごとの良い点、改善点(悪い点)を、考えつく限りできるだけ多く出した。 [ブレインストーミング]
第2回	平成26年 11月29日(土) 13:30～15:30	志摩市役所 4階会議室	問題点・課題の解決のためのアイデアを持ち寄ろう 担当分野の内容(良い点、悪い点)をおさらいし、問題点・課題を明らかにして、解決のための取り組みのアイデア(「市民だけでできること」、「行政と一緒にできること」など)を考えた。 ワークショップの最後に、「私ができること」・「やりたいと考えていること」を宣言した。

市民会議の実施方法

志摩市環境基本計画策定市民会議は、ワークショップ手法で進めた。

【ワークショップ手法】

個人や班単位で意見を出し合いながら一つの成果を作っていく方法である。市民参加で、まちづくりの構想や計画づくりを行う場合に、多く用いられる方法である。

ワークショップ形式の良い点は、教室形式の会議と違って、小人数での討議となるため、比較的、発言しやすい環境を提供できること、参加者の意見・要望をもとにして、班としての考え方が整理できることである。参加者が積極的に発言できることで、会議を活性化する方法として有効である。

4 市民会議による課題解決のためのアイデア

志摩市全体の環境を『生活環境』、『都市環境』、『自然環境』、『地球環境』の4つの分野に分類し、分野ごとの問題点・課題を明らかにして、解決のためのアイデアを出し、具体的な取り組み（「市民だけでできること」、「行政と一緒にできること（官民協働）」）の検討を行った。

生活環境

水質（川・海）

【問題点・課題】

- 海、川のヘドロ。

【対応策・アイデア】

- EM菌の活用。
- 水質検査の結果についての情報公開。
- 食器洗剤の使用を考える。
- 貝殻（カキ）による浄化。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• EM菌の活用。• 浄化槽の適正利用と点検。• 市からの助成金を活用し、合併処理浄化槽を推進。	<ul style="list-style-type: none">• キャラクター（あおサ〜、しま子さん）の活用などによる啓発運動の取り組み。• 下水道設備の早期完備。• 農薬を使用できる許容範囲を設定し指導する。

大気（空気）

【問題点・課題】

- 排ガス。
- 木が伸び放題で、山が荒れている。

【対応策・アイデア】

- 不要なアイドリング、急発進、急加速をしない。
- 樹木、山林の管理。
- 野外焼却を抑制する。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• アイドリングストップ、エコドライブの実施。• 山林の手入れ。• 竹細工などの商品のブランド化。• シルバー人材センターの活用。• 野外焼却を控える。	—————

悪臭

【問題点・課題】

- 生ごみの処理、夏に悪臭が発生。

【対応策・アイデア】

- 生ごみの出し方を改善する。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• ごみの量を少なくする。• 生ごみを堆肥化して活用する。	<ul style="list-style-type: none">• ごみ処理方法の広報。• 家畜の状態の調査。

都市環境

ごみ

【問題点・課題】

- ごみの分別等のマナーが守られない。
- 美化活動に子どもを巻き込むことが必要。
- 不法投棄への対策が必要。

【対応策・アイデア】

- ごみを減らす。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none"> • 一人ひとりがごみを減らす。 • 過剰包装を止める（弁当等）。 • 事業者が容器などを回収する。 • ボランティア活動、学校との連携を増やす。 • 山田エコセンターの見学を増やす。 • リサイクル製品を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生ごみ処理機の普及（補助金）。 • ごみ分別の大切さ、必要性、分別方法などの啓発活動。 • ごみ量の統計を利用し回収回数を見直す。 • ごみについて過去からの努力、評価、改善、結果を見える化する。 • 不法投棄ごみを行政、ボランティア団体、地域が協働で撤去する。

観光客への対応

【問題点・課題】

- 観光客への普及啓発。

【対応策・アイデア】

- 観光と環境をもっと直結させる。ゆるキャラの活用。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none"> • 鵜方駅を降りたら海女さんがお出迎えするなど、環境への取り組みをPRする。 	<p>_____</p>

歴史・文化資源

【問題点・課題】

- 歴史・文化資源の保護。
- 景観への意識が薄い。

【対応策・アイデア】

- 歴史資源の再発見。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• タウンウォッチング。• ウォークラリー。	<ul style="list-style-type: none">• ロードマップをはじめとする全てのデータを集約。• 官民・事業者が、協働でひとつのプロジェクトを作る。• ロードマップ、ウォーキングマップの作成（狭い地域で、町以下）。

空き家問題

【問題点・課題】

- 空き家の増加。

【対応策・アイデア】

- 空き家の実態把握。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 他市からの移住者が定住しやすい環境（空き家バンクなど）の整備。• 他市の成功例を参考に志摩オリジナルの空き家バンクをつくる。	_____

自然環境

外来動植物の侵入

【問題点・課題】

- ・ 外来動植物の侵入と在来動植物への影響。

【対応策・アイデア】

- ・ 身近な外来動植物とその影響を知る。
- ・ 特に子どもたちへの学習の実施。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">・ 市民への啓発。・ 緑の少年少女隊、こどもエコクラブ等への参加や自然体験による子どもたちの自然への関心向上に向けた環境学習の実施。	<ul style="list-style-type: none">・ 学校や漁協との協力。・ パンフレット、広報誌の活用。・ 外来種の駆除作業の実施。・ 環境指標生物による定点観測。

貴重な自然とその恵み

【問題点・課題】

- ・ 広い砂浜と海浜植物の種類が多さ、美しい景観、きれいな夜空などの他市にはない貴重な自然とその恵みを次世代へ継承する必要がある。

【対応策・アイデア】

- ・ 自然保全の活動を活性化させる。
- ・ エコツアーによる自然の活用など、“里海”アイデアをもっと深化させる。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">・ 小・中・高校生を環境保全活動へ参加させる。	<ul style="list-style-type: none">・ 良好な景観の保全を市民と行政で守っていく。・ 伊勢志摩国立公園を次世代に引継いで行く事が大切であり、そこに住む人たちが積極的に自然環境を守るため取り組む。・ 観察会、シンポジウム等の開催。

海岸の漂着ごみ

【問題点・課題】

- 海岸の漂着ごみが多い。

【対応策・アイデア】

- 各地域の住民や市民活動ボランティアの参加協力。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 地域の海岸清掃への参加。• 自治会活動で海岸清掃を行う。	—————

山林・農地の荒廃

【問題点・課題】

- 山林・里山・農地の荒廃が進んでいる。

【対応策・アイデア】

- 荒れ地の利用者を探す。
- 農業、家庭菜園を復活させ、無農薬野菜、食の安全を推進する。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
—————	<ul style="list-style-type: none">• 干潟などの整備

獣害対策

【問題点・課題】

- 獣害が増加。

【対応策・アイデア】

- 野生鳥獣対策の実施。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 各個人が電気柵と一般柵で防ぐ。	<ul style="list-style-type: none">• ハンターの教育。

地球環境

創エネルギー

【問題点・課題】

- 身近なエネルギー利用の普及。

【対応策・アイデア】

- 太陽エネルギーは、農地よりもまず建物の屋根を利用する。
- 志摩の地理的特徴を活かした風力、潮力、波力、小水力、バイオマスなどの活用を考える。
- 夏には、家の中へ自然の風を取り入れる。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 新築時に、太陽光発電の設置を検討する。(将来的には、義務づけもあり得る)。	<ul style="list-style-type: none">• 環境への影響を考慮し、自主的、行政的な制限を検討する。

省エネルギー

【問題点・課題】

- 省エネルギーの実施。

【対応策・アイデア】

- クーラーの使用が少なくすむような、家の構造にする。
- 省エネ商品（車・家電）の購入に補助をする。
- こまめに電気製品を消すなど、電気の使いすぎを見直す。
- 自動車・省エネ商品の経済性、故障時の対応などの情報の提供。
- 電気使用量を抑制し、契約容量を小さくして基本料金を安くする。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 買い替え時に省エネ型機器の購入を考慮する。• スイッチをこまめに切る。	_____

温暖化防止

【問題点・課題】

- 温暖化防止の啓発普及と身近な取り組みが必要。

【対応策・アイデア】

- 温暖化防止や自然エネルギーの活用などの啓発教育を増やす。
- 商品包装のプラスチック類の使用を少なくする。
- 二酸化炭素を利用または固定化する。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• ふろ水を他に使う。• 産業活動からの排出を減らす。• アイドリングをなくす。	_____

その他

【問題点・課題】

- 担い手、しくみづくりが必要。

【対応策・アイデア】

- ごみ教育は市全体で取り組み、学校教育の場で教え込む。
- ごみ処理にエネルギーを使いすぎるので、買った人や市だけでなく生産した人、売った人も負担するしくみをつくる。
- 山、田畑が荒れていくことを食い止めるために、行政による管理や補助、ボランティアグループ養成、木材の利用拡大を考える。
- 高齢化による一次産業の就業放棄を防ぐため、民間の会社で維持する。
- 経済優先から自然環境保護優先に国の体制を変える。

【具体的な取り組み】

《市民だけでできること》	《行政と一緒にできること》
<ul style="list-style-type: none">• 子どもたちをまきこんで、遊びながらみんなで考える。• 山や畑を地域で守り利用する。	<ul style="list-style-type: none">• 山を守ることが、海をきれいにすることにつながっている事を教育する。

資料編

資料－１ 志摩市環境基本計画策定市民会議設置要綱

志摩市環境基本計画策定市民会議設置要綱

(設置)

第1条 環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画(以下「環境基本計画」という。)を策定するにあたり、幅広く市民等の意見を求めるため、志摩市環境基本計画策定市民会議(以下「市民会議」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 市民会議は、次に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 志摩市における環境問題についての現状と課題に関すること。
- (2) 志摩市における環境保全施策に関すること。
- (3) その他環境基本計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 地域住民、団体等の代表者
- (2) 市民からの一般公募者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱を受けた日から平成27年3月31日までの期間とする。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び職務代理)

第5条 委員会に委員長及び委員長代理を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長代理がその職務を行う。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(会議の公開)

第7条 会議は、公開とする。ただし、委員長が特に支障があると認めるときは、この限りでない。

(会議の傍聴)

第8条 傍聴を希望する者(以下「傍聴希望者」という。)は、委員長の許可を得て、会議を傍聴することができる。ただし、次の各号のいずれかに該当する者は除く。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物品を携帯している者
 - (2) 酒気等を帯びていると認められる者
 - (3) その他議事を妨害することを疑うに足る顕著な事情が認められる者
- 2 会議を傍聴する者(以下「傍聴人」という。)の定員は、20人以内とする。
- 3 傍聴希望者は、会議当日の会場受付にて先着順で傍聴受付簿に氏名及び住所を記入し、受付を終了したとき、資料等の交付を受け、入場することができる。なお、傍聴の受付は、傍聴希望者が定員となり次第終了する。
- 4 傍聴人は、次の事項を遵守しなければならない。
- (1) 委員長及び事務局員の指示に従うこと。
 - (2) 静粛にし、拍手その他の方法により賛成又は反対の意向を表明しないこと。
 - (3) 飲酒又は喫煙をしないこと。
 - (4) みだりに席を離れないこと。
 - (5) はち巻、腕章、たすき、ゼッケン、ヘルメットの類を着用したり、張り紙、旗、垂れ幕の類を掲げる等示威的な行為をしないこと。
 - (6) 携帯電話等を会場内で使用しないこととし、受信音等も鳴らないようにすること。
 - (7) 写真撮影、録画、録音等を許可なく行わないこと。
 - (8) その他会場の秩序を乱し、又は会議の支障となる行為をしないこと。
- 5 傍聴人が前項の規定に違反するときは、委員長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、生活環境部環境課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

資料－２ 第１回 志摩市環境基本計画策定市民会議の結果

■はまゆう班の意見

分野	良い点	悪い点
地球環境	<p><太陽エネルギーの活用> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の推進。 ・ソーラーパネルの設置。 ・高い山が少なく日当たりが良好、太陽の恵みが一杯。 	<p><太陽エネルギーの活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>景観や廃棄の問題がある。</u> [2 票] ・場所を選ぶことが必要。 <p><防災> (気候変動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風が強く台風被害が多い。(海陸ともに) [2 票]
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気候が温暖である。 <p><頑張っている人がいる> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜作り等の畑作に最適。 ・水産業がさかんである。 <p><良い景観の保全> [4 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の豊かさ。 ・美しい景観がある。 <p><海がきれい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・横山の保全 (横山は志摩の財産) ・自然教育、観察会。 <p><自然保全の活動を活性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を守るための植樹などを行っている。 ・海をきれいに守りたいという人が多い。 	<p><農地の荒地化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の荒地が多くなっている。 <p><獣害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシの多さ。 ・野生動物 (イノシシ、シカ、サル) の害。 <p><きのこ、貝がとれなくなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野山のキノコがとれなくなった。 ・海岸の貝類がとれなくなった。 <p><外来種が増加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来の植物が多く見られる。 ・昔の植物が少なくなっている。 ・植物、生物、外来種。 <p><海のゴミ、汚れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂着ゴミ。 ・海が汚れてきている。 ・海岸のゴミの処理。
都市環境	<p><資源化はできている></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田エコセンターでゴミの再生処理をしている。 ・生活ゴミの回収がしっかりなされている。 ・ゴミの回収が定期的で衛生的である。 <p>・ゴミの分別</p> <p><歴史資源が多い> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な場所が多い。 ・文化的資源としての灯台なども多い。 <p><海女の歴史> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海女の歴史がある。 ・海女、漁業資源。 	<p><分別が難しい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の変化でゴミの種類が多く又多量である。 ・分別が複雑。 <p><不法投棄> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄。 ・リサイクル税が後処理となっている。(車は前納である) <p><意識の問題・制度の問題> [2 票]</p>
生活環境	<p><空気がきれい> [3 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音や大気汚染の心配がない。 <p><下水道> [1 票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道が整備され衛生上良好。 	<p><下水道></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道が全域で完備されていない。 ・下水道が整備できない地区があり対策が必要。(土地がせまい) ・下水道の推進。 ・生活用水 (汚水) が流れ、へドロの為魚介類が育ちにくい。 <p><野焼き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野焼きが多い。 <p><高齢化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による地域の衰退。

注 1 ・ は付箋紙の記入意見を、<> は見出しを示す。

注 2 []は得票数を示す。

注 3 下線付き文字は、分野別の得票の最も多い人気トップを示す。

■はまゆう班の意見（続き）

分野	良い点	悪い点
参加・協働	<p><行政や個人で対応してる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己防衛をしっかり行っている方もある。(川網等) ・行政組織が明確になっている。(環境課中心で各課へ支援) <p><集会所が充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所等が充実している。 ・地域での啓蒙活動がなされている。(一部地域か? ボランティア) 	<p><行政の対応に問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応が後手後手となっている。 ・動きの悪い組織がある。(県) ・里海教育が広まっていない。(観覧会参加者が同じが多い) ・国際規格との関連性が不明確。 ・CSRが徹底されていない。(企業の社会的責任) <p>・集会所等は充実しているが、活用する住民が高齢化で活用しきれっていない。</p> <p><意識が低い人がいる>[4票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てが多い。(意識が低い) ・自分勝手な行動が散見される。



■ねむの木班の意見

分野	良い点	悪い点
地球環境	<p><エネルギーが良いほうへ> [4票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の増加。 ・省エネ家電の普及。 ・PHV、EV、HV車の使用が増えた。 	<p><やりすぎ> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル設置による環境破壊？ ・メガソーラーは本当にいいの？
自然環境	<p><貴重な自然とその恵み> [3票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな星を見に志摩へ続々。 ・美しい真珠。 ・志摩の自然を求めて移住者が来るが・・・ ・美味しい食材。(伊勢エビ、アワビ等) ・志摩の自然を求めて観光客が来る。 ・伊勢志摩国立公園という恵まれた環境。 ・国立公園法という法律に守られている。 ・そこにしかないもの。(在来) ・里海の取り組みは良い。 ・美しい自然(里山、英虞湾、的矢湾) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海の汚れの現状を正しく知る機会がない。 [1票] ・自然に恵まれすぎて住民に自覚がない。 ・魚貝類の減少。 <p><自然の管理不足> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私有地の自己管理が悪い。(山、畑) ・ウバメガシが伸びまくり。 ・イノシシ、タヌキ等の被害が増えている。 ・海岸のゴミが多い。(ペットボトル、空き缶、トレイ、カセットコンロのカセット)
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある祭事が多い。 ・山田エコセンターを最近見学しました、地球にやさしい施設です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増加。 [1票] ・パチンコ店のライトが上向き。 ・景観の意識がない。(看板) [1票] <p><ポイ捨て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニのポイ捨てゴミが多い。 ・ゴミの投げ捨て。(道路) <p><ゴミと資源> [3票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度になってから、ゴミの分別が不十分。 ・ゴミの分別の徹底。 ・プラスチック回収の回数が少ない。 ・小型家電のリサイクル。 ・ゴミとなる容器や包装を条例で規制できないか。 ・リサイクル(エコ)製品をもっと使おう。
生活環境	<p>・前川がきれいになった。 [4票]</p>	

■ねむの木班の意見（続き）

分野	良い点	悪い点
参加・協働	<p><地道な取り組み> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会はがんばっていると思う。(ゴミなど) ・浜そうじをやっています。 ・個人やグループが黙々とがんばっている。 <p><将来の希望> [2票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里海の授業をやっています。が…… ・自然観察会から始まる自然保護。 <p><外へアピール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の豊かさを外へ発信しています。 ・海女さんのキャラ大人気。らしい 	<p><地道な取り組み> [3票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜そうじの参加者に高齢者が多く、減ってきている。 ・ボランティア活動（浜そうじ）に小中学生の参加がない。 ・行政の「動き」が発信されていない。 ・志摩5町の人々は、他の町のことを知らない。 ・志摩5町は意識が一つになっていない。
(全体に関連、その他)		<ul style="list-style-type: none"> ・志摩5町の人々は、他の町のことを知らない。 ・志摩5町は意識が一つになっていない。 ・ゴミ、使い捨て、モラルの問題を掘り下げたい。



■白千鳥班の意見

分野	良い点	悪い点
地球環境	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議が多く開催され、成果が期待できる。 ・太陽光発電パネルが多くみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>気温上昇（地球温暖化）</u> [5票] ・PM2.5の飛来。 ・黄砂の飛来。
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・広い砂浜があり、海浜植物の種類も多い。 ・まだまだ海はキレイ。 ・公園と名の付くところは整備されている。[1票] 	<ul style="list-style-type: none"> <生物・植物の問題> ・動植物の絶滅危惧。 ・外来動植物の侵入が多い。 ・外来種の植物が多くなった。 ・<u>的矢湾で魚が少なくなっている。</u> [3票] ・河川に魚類が少ない。 ・里山が消え、動植物が危機的である。 ・伊雑ノ浦ではヘドロが堆積しアマモ等が絶滅。 <川の汚染> ・池・沼の汚染 ・上流に畜産業があり、尿等が流入 <山林・農地の問題> ・農地が荒れている。 ・山林の手入れがされていない。[1票] ・休耕地が多くなっている。 ・野焼き等をしている場面が多発。 <獣害の問題> ・獣害が増えている。 ・イノシシ、シカの害。
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの集積場は整っている。 ・監視者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> <不法投棄> ・<u>不法投棄が多い。</u> [2票] ・不法投棄（ゴミ） ・空地・農地には不法投棄が多くなった。[1票] ・他の地区から軽トラックで草刈りのごみを海岸に捨てに来る。[1票] <ごみ問題> ・家庭ごみ出しのマナーが悪い。 [1票] ・国の法制度に問題がある。 [2票] <地域文化> ・地域文化を継承する意欲が低下している。 <河川環境> ・河川敷の除草が行われていない。
生活環境	意見なし	意見なし
参加・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の手法が良い。 ・企業の努力がある。 ・自治会によるボランティア活動が活発。 ・海、河川等に不法投棄があるが、清掃活動した後は不法投棄はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>環境教育の無さ。</u> [2票] ・市民の環境問題に対する関心の低さ。 [1票]

■伊勢えび班の意見

分野	良い点	悪い点
地球環境	<p><省エネ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電、自動車など省エネ商品が増えている。 ・クーラーが温度設定をする。 <p><創エネ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルで自家発電をする。 ・太陽パネルの現状（雑地に置いてある。） ・自然エネルギーを利用することが多くなってきた。（ソーラー発電など） 	<p><省エネ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ商品の買い替えに金がかかる。 ・省エネルギーについて家庭でできること。 <p><使い方>[4票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山が荒れている。（燃料にできないか。） ・田んぼなどの空地で許可無く火を燃やす人が多い。
自然環境	<p><自然>[2票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水はきれい ・恵まれた自然がある。横山の展望はすばらしい。 ・恵まれた自然をなんとか残していきたい。 ・現状を把握することから。 ・川に魚が増えている。 <p><動植物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥等の種類が多くなってきた。 ・川にも小魚が戻りつつある。 <p><啓発>[1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に努力する意識や人が増えている気がする。 ・オートキャンプ場ではイベントとして、お客参加の海岸清掃を行っている。 	<p><動植物>[1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等の被害が多く困っている。（対策の強化） ・カラスが多くゴミを散らかす。 ・イヌの糞をそのままにしている人が多い。 ・外来生物が多くなってきた。（オオフサモ、アメリカセンダングサ） ・ヤマユリや野花が少なくなってきた。 <ul style="list-style-type: none"> ・アサリがとれなくなった。 <p><農地等>[2票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備などが後手後手になっている。 ・農地、山林を守るために金がかかる。 <ul style="list-style-type: none"> ・荒れている農地が多い。 ・農地の耕作者の高齢化で田畑が荒れてきた <p><ゴミ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の強い日に道路にゴミが多い。 ・各地区のゴミ収集場所を守らない人が多い。 ・浜にゴミが多い（台風のあと）
都市環境	<p><景観>[2票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府の榎垣等が保存されており良いことだと思う。 ・横山から見た景観はすばらしい、後世に伝えるべき。 <p><ゴミルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別がこまかいので良い。 ・ゴミ出し場はきれいにしている。（ゴミ袋に名前を書いている） <p><リサイクル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・捨てていたものが資源になることへの理解が少しずつ進んでいる。 	<p><ゴミルール>[2票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ処理に金も手間もかかりすぎる。 ・ゴミの分別が出来ない人が多く困っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路にゴミのポイ捨てが目立つ。 ・ゴミを出す人が負担しているが、作る人の責任もあるはず。（空き缶、ペットボトル、エアコン等） ・道路脇の草に隠れてゴミ袋、ゴミが落ちている。 ・ゴミ出しで守らない時もある。（不燃と時間） <p><観光客></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に対する対応の仕方（自分の町の良い場所を教える）

■伊勢えび班の意見（続き）

分野	良い点	悪い点
生活環境	<p><水質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の下水道の現況。 <p><化学物質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼで農薬を使用することが少なくなった。(川の浄化) <p><清掃> [3票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横山展望台がパークボランティア等による清掃できれいになってきた。(大阪のオバチャンの声、「ここはきれいね」) <p><大気> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車が電気になると良い。 	<p><水質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道のまだのところはどうするのか。 <p><化学物質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・除草剤の使用が多すぎるのでは。(田畑に雑草がない、虫がいなくなった) <p><悪臭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚、牛などの牧場からの異臭で困っている。(立神、甲賀) ・豚屋さんが近所にあるので道路に悪臭をまく。
参加・協働	<p><マナー> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋を持ってウォーキングする人がいる。 	<p><教育> [3票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供にどう海をきれいにすることを教えるか。 ・小中学校でゴミの教育をホームルームの時間で是非やってほしい。 ・子供たちが自然と遊ばなくなった。(家の中でゲームをしている) ・耕作地の放棄が多く、水質保全などが出来ていない。 <p><施設整備> [1票]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道がないので、車道を自転車で通学してあぶない。



分野ごとの旗揚げ投票結果

分野		①はまゆう班	②ねむの木班	③白千鳥班	④伊勢えび班
地球環境	トップ	太陽エネルギーの活用	エネルギーが良いほうへ	温度上昇(地球温暖化)	山が荒れている
	①	2	1	0	2
	②	2	0	0	3
	③	3	0	0	2
	④	0	0	1	4
計	7	1	1	11	
自然環境	トップ	良い景観の保全	貴重な自然とその恵み	生物・植物の問題	農地等
	①	1	0	3	1
	②	0	3	2	0
	③	0	0	5	0
	④	0	1	0	4
計	1	4	10	5	
都市環境	トップ	ゴミ(意識の問題・制度の問題)	ゴミと資源	不法投棄	ゴミルール
	①	1	1	1	2
	②	0	5	0	0
	③	0	2	0	3
	④	1	1	0	3
計	2	9	1	8	
生活環境	トップ	空気がきれい	前川がきれいになった	(なし)	清掃(横山展望台がパークボランティアできれいになった)
	①	0	0	—	5
	②	4	0	—	1
	③	5	0	—	0
	④	1	0	—	4
計	10	0	—	10	
参加・協働	トップ	意識が低い人がある	地道な取り組み	環境教育の無さ	教育(子供たちに海をきれいにすることをどう教えるか)
	①	0	1	3	1
	②	5	0	0	0
	③	0	0	0	5
	④	0	0	2	3
計	5	1	5	9	

- 1 ブレーン・ストーミングで提示された良い点・悪い点の付箋紙をグループ分けし、見出しをつけた。
- 2 各班で分野ごとに付箋紙(グループ)の人気の高いトップを班内投票により選出した。
- 3 分野ごとに4班のトップについて全員の旗揚げ投票により全体トップを選出した。
全体トップへの投票数の多い班が、第2回会議でその分野を担当する。
生活環境は、他の3班の分担が決まったので、はまゆう班の担当とした。
担当は次のとおり。

班名	分野
はまゆう班	生活環境
ねむの木班	都市環境
白千鳥班	自然環境
伊勢えび班	地球環境
共通	参加・協働

資料－４ 第２回 志摩市環境基本計画策定市民会議の結果

■【生活環境分野】はまゆう班

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
<水質（川・海）> ・海、川のヘドロ	<ul style="list-style-type: none"> ・EM菌。 ・情報開示。 ・水質検査の結果についての情報公開。 ・廃棄物の処理についてチェックが必要。 ・食器洗剤の使用を考える。 ・貝殻による浄化（カキ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EM行政団体。 ・浄化槽の適正利用と点検。 ・合併浄化槽の推進。 ・市からの助成金。 	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発運動の取り組み。 ・キャラクター使用（アオサー、しま子さん）。 ・下水道の早く完備。 ・下水道設備費が高いため行政の大きな助成を。 ・農薬を使用できる許容範囲を設定し指導する。
<大気（空気）> ・排ガスを削減する ・木が伸び放題 ・山が荒れている	<ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドリング、急発進、急加速をしない。 ・樹木の管理ができていない。 ・野焼き。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ、エコドライブの実施。 ・山林の手入れ。 ・竹細工などの商品としてブランド化。 ・シルバー人材センター。 ・野焼き、たき火、ゴミ焼きを控える。 	
<悪臭> ・生ゴミの処理、夏に悪臭が発生	<ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミの出し方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの量を少なくする。 ・生ゴミを畑に埋める、肥料になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ処理の方法の広報。 ・家畜の状態の調査が必要。

注 <>は見出しを示す。



■【都市環境分野】ねむの木班

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
	<p><共通的な課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会に特別な権限をもたせる。 市内（地域内）に住んでいない人からゴミ、土地美化の協力金をもらう。 行政の条例や計画等の構成がどうなっているか。 		
<ul style="list-style-type: none"> なぜゴミの分別等のマナーが守られないのか ゴミの分別の徹底 美化活動に子供を巻き込むには 不法投棄への対策 	<ul style="list-style-type: none"> ごみを減らす。 	<p><個人的に減らす></p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミを減らす。 <p><社会的に減らす></p> <ul style="list-style-type: none"> 過剰包装を止める（弁当等） 事業者が容器等の回収。 ボランティア活動、学校との連携。 <p><教育と市民への啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> 山田エコセンターの見学を増やす。 <p><再活用></p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル製品の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの回収回数の見直し（多い少ないの統計を利用）。 生ゴミ処理機の普及（補助金の増額）。 ゴミ分別において、まちがしやすいものの紹介（啓発活動）。 ゴミの分別の大切さ、必要性を知らせる。 分別する必要を理解させる。 ゴミについて過去からの努力を評価→改善→結果をみえるようにする。 不法投棄ゴミを行政、ボランティア団体、一般で撤去しては。
<ul style="list-style-type: none"> 歴史（文化）資源（有形・無形）の保護 景観への意識が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源の再発見。 	<ul style="list-style-type: none"> タウンウォッチング ウォークラリー 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのデータを集約 環境を売りにする志摩市は、官民・事業者がひとつのプロジェクトを作る（市全部が国立公園なのだから）。 ロードマップ、ウォーキングマップの作成（狭い地域で、町以下）。
<ul style="list-style-type: none"> 観光客への対応 	<p><環境ともっと直結させる。></p> <ul style="list-style-type: none"> ゆるキャラの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 鶴方駅を降りたら海女さんがお出迎え。 	
<ul style="list-style-type: none"> 空き家問題 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の実態把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 他市からの移住者が定住しやすい住環境（空き家バンク） 空き家バンクを他市の成功例を参考に志摩オリジナルをつくる。 	

注 <>は見出しを示す。

■【自然環境分野】白千鳥班

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
<ul style="list-style-type: none"> ・外来動植物の侵入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な外来動植物を知る。 ・影響を知る。 ・外来種を含む生物の紹介。 ・特に子供たちへの学習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対する啓蒙（市民の意識向上）。 ・子供エコクラブの活用（子供の意識向上）。 ・子供たちの自然への関心（向上）、体験（自然体験実施）。 ・子供たちの教育。緑の少年少女隊、エコクラブ（活動参加）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の協力。漁協の協力。 ・パンフレット、広報誌等の活用。（啓蒙） ・（外来種の）駆除作業（の実施）。（但し、行政の許可が必要） ・定点観測が必要。環境指標生物の活用。
<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な自然とその恵み。志摩市は広い砂浜があり、海浜植物の種類が多い。 ・志摩市の自然は他所よりは良い。 ・美しい景観を守る。 ・良い景観の保全。 ・横山から見た景観は素晴らしいから後世に伝えたい。 ・夜空がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保全の活動を活性。 ・“里海”アイデアをもっと深化させる。 ・きれいな自然の活用。 ・エコツアーを進める。 ・外灯への配慮（外灯の工夫、星を見やすくする） 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題は地元の小・中・高の参加が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩国立公園を整備し守っていく。 ・この景観は市民と行政で守っていくべきと考えるが、どの課題も市民の方が大きく感じる。 ・伊勢志摩国立公園を次世代に引継いで行く事が大切であり、そこに住む人たちが積極的に自然環境を守るため取り組む。市民と行政が参加できる施策を講じる必要がある。 ・観察会、シンポジウム等の開催。
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸の漂着ゴミ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ボランティアに頼る。 ・各地区の海岸のゴミは漂着ゴミが多く、これは各地域の住民の参加協力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民として、地域の海岸については今まで通り海岸清掃に参加したいと思う。 ・（活動について）自治会へ要望（自治会で行う） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・山林・農地が荒れている。 ・里山の荒廃。 ・農地の荒れ地化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れ地の利用者はいないか。 ・農業・家庭菜園の復活。無農薬野菜、食の安全。 		<ul style="list-style-type: none"> ・干潟などの整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・獣害が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の猟友会にも限界がある。各個人が電気柵と一般柵で防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンターの教育。

注 <>は見出しを示す。

■【地球環境分野】伊勢えび班

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
<p><創エネルギー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 ・風力発電 ・波力発電 ・太陽熱 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽エネルギーは、まず建物の屋根を利用する。(平地は緑を残す) ・農地に太陽光パネルより、農地として活用する方法を進めたい。 ・今のままで環境(回りの)が変わってからでもよい。 ・太陽光発電の海の近くでの消費年数はどれくらい。 ・志摩は風が強いので風力発電も考えたらどうか。 ・太陽光発電だけでなく、風力発電も。 ・自然の風、家の中へ自然の風を取り入れる(夏)。 ・潮の満ち引きを利用した発電が出来ないか。 ・太陽光以外の自然エネルギーの活用、波力・小水力・太陽熱・バイオなどを活用できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築の家を建てるとき、太陽光発電を装着するように義務づける。 ・新築時に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限が必要ではないか(自主、行政)。 ・コスト、環境面で改善できたら導入。
<p><省エネルギー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電 ・車 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏、クーラーを使うと暑い空気が外に出るので外気が高くなる、クーラーを使うことを少なくてすむように。 ・省エネ商品(車・家電)の購入に補助する。 ・こまめに電気製品を消すようにする。 ・電気の使いすぎ。 ・コンビニや自販機の24時間営業は必要か。 ・電気の使い方24時間にしないで、何年か前のようにする。 ・省エネの買い替えも金額的に考えてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い替え時に考慮する。 ・スイッチをこまめに切る。 	<p>(問題提起、営業妨害になるといけないのでコメントなし。)</p>

注 <>は見出しを示す。

■【地球環境分野】(続き)

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
<p><省エネルギー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電 ・車 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車・省エネ商品、使い続けると安いのか、故障したとき? ・商品のバックが多すぎないか、プラスチック類の使用を少なく。 ・二酸化炭素を利用するか固定化する。 ・家のアンペア(30W→40W、店をしていると高い)。 		
<p><温暖化防止></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止や自然エネルギーの活用等、こんなことができるよという啓発教育がもっと必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふる水を他に使う(産業活動を減らす)。 ・アイドリングをなくする。 	
<p><その他></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済優先から自然環境保護優先に国の体制を変えないと将来大変なことになる。 ・山の手入れが進んだら、ゴミを捨てられることもなくなる。 ・山の手入れがなされない、耕作放棄地が増えている。 ・海岸清掃のときと思いますが、海を汚すのは漁師である。 ・高齢化により一次産業の就業放棄が目立っている、民間の会社で維持できないか。 ・ゴミ教育の問題は、市全体で取り組み時に学校教育の場で教え込むべきだ。 ・ゴミ処理にエネルギーを使いすぎる、カン、ペットボトル等、買った人や市だけでなく生産した人、売った人も負担する仕組みをつくる。 ・山が荒廃しているので計画的に植栽をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちをまきこんで、遊びながらみんなで考える。 ・山や畑を地域で守り利用する。 ・観光客向け体験ツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・山を守ることが海をきれいにすることにつながることの教育。

注 <>は見出しを示す。

■【地球環境分野】(続き)

問題点・課題	対応策・アイデア	具体的な取り組み	
		市民	官民協働
<その他>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみについて、森林について少しずつ意識を変えていく啓発活動が重要 ・国家の食料自給率を上げるために18~22才まで「徴農制」を敷いて国土の荒廃も食い止めることができる。 ・北海道の知床の海が「よみがえった」のは、長い期間をかけて山の保全をした。 ・山、田畑が荒れていくことを食い止めるために行政の補助が必要、ボランティアグループ養成、資金援助等。 ・不法投棄、ゴミを減らすために分別の方法をもっとかんたんにしてほしい。 ・山が荒れていくのは所有者の高齢化が大きい、木材の利用拡大と公で管理していくことを考えてほしい。 		

注 <>は見出しを示す。



資料-5 第2回 志摩市環境基本計画策定市民会議 発表シート

はまゆう班		生活環境 分野	
問題点・課題 【良い点・悪い点】	対応策・アテ了 【どうすればいい?】	具体的な取り組み	
		市民 一人ひとり、地域、団体、事業者	官民協働 市と一緒に
水質(川)	河川清掃、水質調査、水質改善工事	河川清掃活動、水質調査の実施	河川清掃活動の実施、水質調査の実施
大気(臭気)	臭気調査、臭気防止対策	臭気調査の実施、臭気防止対策の実施	臭気調査の実施、臭気防止対策の実施
地質(土壌)	土壌調査、土壌改良	土壌調査の実施、土壌改良の実施	土壌調査の実施、土壌改良の実施
騒音振動(騒音)	騒音調査、騒音防止対策	騒音調査の実施、騒音防止対策の実施	騒音調査の実施、騒音防止対策の実施

あむの木班		都市環境 分野	
問題点・課題 【良い点・悪い点】	対応策・アテ了 【どうすればいい?】	具体的な取り組み	
		市民 一人ひとり、地域、団体、事業者	官民協働 市と一緒に
緑化(緑地)	緑化調査、緑化対策	緑化調査の実施、緑化対策の実施	緑化調査の実施、緑化対策の実施
景観(景観)	景観調査、景観対策	景観調査の実施、景観対策の実施	景観調査の実施、景観対策の実施
防災(防災)	防災調査、防災対策	防災調査の実施、防災対策の実施	防災調査の実施、防災対策の実施
その他	その他	その他	その他

白千鳥班		自然環境 分野	
問題点・課題 【良い点・悪い点】	対応策・アテ了 【どうすればいい?】	具体的な取り組み	
		市民 一人ひとり、地域、団体、事業者	官民協働 市と一緒に
自然環境(自然環境)	自然環境調査、自然環境対策	自然環境調査の実施、自然環境対策の実施	自然環境調査の実施、自然環境対策の実施
その他	その他	その他	その他

伊勢えび班		地球環境 分野	
問題点・課題 【良い点・悪い点】	対応策・アテ了 【どうすればいい?】	具体的な取り組み	
		市民 一人ひとり、地域、団体、事業者	官民協働 市と一緒に
地球環境(地球環境)	地球環境調査、地球環境対策	地球環境調査の実施、地球環境対策の実施	地球環境調査の実施、地球環境対策の実施
その他	その他	その他	その他

資料－6 志摩市環境基本計画策定市民会議委員名簿

【委員長】 村瀬善乃武

【委員長代理】 前田 一彦

市の花 “はまゆう” 班	加藤 勝彦
	古田 幸實
	堀口 澄子
	出口 禎子
	前田 敏道

市の木 “ねむの木” 班	川口 泰生
	竹内 千鶴
	田邊 秋生
	宮本 秀明
	山際 峰生

市の鳥 “白千鳥” 班	竹内 喜壽
	中村みつ子
	檜山 茂
	前田 一彦
	森口 幸弥

市の魚 “伊勢えび” 班	小林タイ子
	中井 啓二
	中山 惇
	濱口 千昌
	村瀬善乃武
	和田 智子



志摩市環境基本計画策定市民会議の委員のみなさん



志摩市環境基本計画策定市民会議報告書
平成 26 年 12 月

作成 志摩市環境基本計画策定市民会議

事務局 志摩市 生活環境部 環境課

TEL 0599-44-0228

FAX 0599-44-5261